

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いつ安全な医療を提供します

ジェネリックでエコな暮らし

薬剤部長 田中 恒明



日本人の平均寿命は、2015 年、女性 87.05 歳、男性 80.79 歳でいずれも過去最高を更新しました。一方、少子高齢化が進む中で国民医療費は年間 40 兆円を超え、医薬品費は医療費全体の 4 分の 1 を占めています。医療、介護、年金、そして子供や孫のこと。将来への漠然とした不安をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。医療費を削減するひとつの方法としてジェネリック医薬品への切り替えがあります。

2011 年 3 月 11 日、金曜日午後 2 時 46 分、東日本大震災が発生しました。マグニチュード 9 の地震とそれに伴って発生した津波、そして原発事故。今なお、17 万人以上の方々が自宅に帰ることができず不自由な避難生活を送っています。当時、横浜でも電車が止まり、街灯が消えました。天皇・皇后両陛下もお住まいの皇居・御所の電気を一定時間使わない自主停電を続けられていたそうです。計画停電と節電要請が続く中でわれわれの意識も大きく変わりました。

ジェネリック医薬品に対しては、今なお偏見や誤解があります。「安かろう悪かろう」のイメージをもたれている方もいらっしゃいます。そのような心配をお持ちの方は、遠慮なく薬剤師にご相談ください。ジェネリックでエコな暮らし。われわれが心から長寿を祝い、世界に誇る皆保険制度を未来の子供たちに引き継ぐためにできること。ジェネリックは、わたしたちにできる究極のエコ活動です。

高齢者の転倒防止の動画が公開されています。

旭区は高齢者数が多く、救急件数も高齢者のケガによるものが増加しているそうです。ケガをすると介護が必要な状態になる可能性も高くなるため、ケガを未然に防ぐケガ予防の取り組みがとても重要です。

旭消防署ではケガに限らず病気の予防も含めた「予防救急」に取り組んでいて、旭消防署を中心に、当院も含めた旭区内の組織が協力して「旭区高齢



者予防救急連絡会」が活動しています。この予防救急連絡会が作成したケガの予防啓発のための動画が公開されています。当院の外来会計前のディスプレイでも定期的に放映されていますので、ご覧になった方もいると思います。お手持ちのスマホで右上の QR コードを読ませるか、YouTube のトップページの検索欄で「旭区転倒防止」と入力して検索するとヒットしますので、高齢者でない方もぜひ一度ご覧ください。旭区高齢者予防救急連絡会は、今後、転倒予防を啓発するための小冊子発行を予定しています。当院も協力して、防げるケガを少しでも減らせるようお手伝いをしていきたいと思っています。

シリーズ
**部署
 紹介** # 0 9
栄養部

栄養部の業務は、主に給食管理、栄養管理、栄養指導の3つです。

職員は病院側の管理栄養士8名と、給食業務を委託している(株)メフォスの職員60名です。主として、給食管理は(株)メフォスが、栄養管理・栄養指導は病院側が行っています。

給食管理は、入院患者さまの症状にあった栄養量や形態を考慮し、1日800食前後の食事を提供しています。季節ごとに旬を感じられるような行事食で、喜んで食べていただけるよう工夫しています。

栄養管理は入院患者さまの必要栄養量が、輸液等も含め満たしているかどうか管理し、また、退院後にも継続した食事管理ができるよう集団や個人での栄養指導を行っています。

外来栄養指導は食事療法が必要な方はもちろん、食事が飲み込みにくい、宅配の利用法や栄養補助食品の使用法など、食事全般についてのご相談をお受けしています。ご希望の方は主治医にお申し出ください。

栄養部 副部長 清水朋子



Seibu Time ⑮『Seibu Time について』

このコーナー『Seibu Time』は、当院の近隣にある地域の名所旧跡や自然などをご紹介するコーナーとして、平成25年4月発行の第30号からスタートしました。このたび、原稿執筆者が人事異動により変更することとなり、これまでの内容を見直してみました。右の表が、その一覧です。

西部病院の周りにはいろいろな時代の名所旧跡があるほか、自然が多く残され、冬は寒空にきりっとした富士山を望むことができます。魅力がいっぱいのこの場所で、又皆さまにお目にかかる日を楽しみにしています。約4年15回に渡り、ご愛読いただき誠にありがとうございます。

以前のSeibu Timeで読みたい記事がありましたら、当院のホームページの一番下にある『病院の刊行物等』からご覧いただくか、院外報編集委員会の事務局である地域医療連携係へお問い合わせください。

Seibu Time 一覧

号	発行日	タイトル
30	平成 25 年 4 月	① 野境道路
31	平成 25 年 6 月	② 矢指谷遺跡
32	平成 25 年 9 月	③ 市民の森
33	平成 25 年 12 月	④ 三ツ境からみた富士山
34	平成 26 年 5 月	⑤ 『三ツ境』の『三ツ』とは？
35	平成 26 年 7 月	⑥ 中原街道
36	平成 26 年 10 月	⑦ 旭区の名所旧跡
37	平成 27 年 1 月	⑧ 瀬谷八福神
38	平成 27 年 4 月	⑨ 聖マリアンナ医科大学について
39	平成 27 年 7 月	⑩ ズーラシア
40	平成 27 年 10 月	⑪ 海軍道路
41	平成 28 年 1 月	(掲載なし)
42	平成 28 年 4 月	⑫ ニツ橋
43	平成 28 年 7 月	⑬ こども自然公園
44	平成 28 年 10 月	⑭ 保土ヶ谷バイパス
45	平成 29 年 1 月	⑮ 今までの Seibu Time

心不全チームの活動について

心臓の主な役割であるポンプ機能が低下し、全身の血液循環がうまくいかなくなることで様々な症状や変化が生じます。こうした現象そのものを「心不全」といいます。症状が軽い患者さんであれば、心不全が悪化してしまう患者さんもいます。入院を予防し、健康な生活を維持するためにも、心不全を「悪化させないこと」は非常に重要です。そのためには医師が行う検査や治療も重要ですが、「塩分」、「風邪」、「ストレス」、「働き過ぎ」など、実は普段の生活の中に、注意すべき心不全を悪化させる原因がたくさん隠れています。何が原因で、どうすれば防ぐ事が出来るのか、患者さんによって工夫や対策方法は異なります。今年4月



に始動した「心不全チーム」では、多くの職種が連携して話し合いをし、心不全の患者さんそれぞれに説明・指導を行う活動などを行っています。現在は主に入院中の患者さんが対象ですが、外来診療の患者さんも含め、より多くの患者さんに役立つような体制作りを目指しています。

心不全チーム担当医師
鈴木規雄（循環器内科）

病院運営企画室について

当院には、『病院運営企画室』という部署があります。誕生して1年余りが経過しました。

病院で何を企画するの？何か今までにないような医療を開発して一儲けしよう(^o^)/なんて考えているの？と怪しむ方もいらっしゃるかもしれませんが、決してそうではありません。病院を取り巻く環境は、世の中の動きに連れて大きく変わっています。その変化に対応するため、新しい情報や仕組み等を病院の中へ上手に取り組みんでいくために院内での旗振り役を行う、ということも、その業務の1つです。

例えば、当院の各診療科の責任者や看護師長、医療技術部署等の課長職が参加する研修会の企画・開催、電子カルテ導入プロジェクトの進捗管理、院内に55ある委員会の活動状況確認や再編等の検討、臨床指標に関する取り組み等を行っています(臨床指標については、昨年10月からは、全国の各病院が国の指定した同一の指標を使ってそれぞれの病院のホームページで掲載することとなり、当院でもその書式に沿ったデータも合わせて掲載しています)。当院は、今年5月に開院30年を迎えます。30年という節目に当院らしいイベント等を開催することも検討中です。

病院に勤務する職員は、国家資格の医師免許や看護師免許等を持つプロ集団で構成されており、そのため組織としてまとまりにくい、と言われることがあります。しかし、患者さまの命や健康を守る、という方向は、全く変わりません。当院をご利用の皆様や地域にお住まいの方々が安心して健やかな生活を過ごすことができるように、当院が誇るプロ集団の仕事を支援する部署として、業務を進めていきたいと存じます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



病院運営企画室
荒川 隆

患者さまのご意見から No.13

採血に時間がかかり過ぎて、困る。

当院からの回答

採血でお待たせし、申し訳ありません。当院には採血ブースが6台ありますが、平成28年4月より診察前の採血を8時から3名で、8時30分からは6名体制で行っております。以前に比較すると朝の待ち時間は短縮していますが、時間帯によりお待たせしていることもあるようです。採血のみの方は比較的空いている10時30分頃が待たずに採血できると思われま

す。今後も状況を踏まえて人数調整を行っていく予定です。また、体調の悪い方は検査部スタッフへお声をかけて頂くよう掲示をしておりますので、よろしくお願いいたします。



総合相談部からのお知らせ

総合相談部では、入院中、または外来診療中の患者さま、ご家族のご相談を承っています。ご相談内容については、秘密を守ります。どうぞ、お気軽にご相談下さい（ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします）。内容は、以下の通りです。

【ソーシャルワーク係】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことも相談したい、医療費や生活費が心配、転院の相談 など。

【ホームケア係(看護相談など)】介護の仕方が分からない。訪問看護を受けたい など。

【地域医療連携係】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたい など。

【総合案内】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたい など。

【患者さま相談窓口】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：

- ・ソーシャルワーク係、ホームケア係(1階正面玄関横)
- ・地域医療連携係、患者さま相談窓口(1階産婦人科外来横)
- ・総合案内(1階正面玄関)



当院は原則として「初診紹介制」となっています。初めて受診される時は、地域医療機関(かかりつけ医等)からの「紹介状」をお持ちください。初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、院内のチラシ、ホームページまたは、総合案内、地域医療連携係へご確認下さい。

【当院の休診日】 日曜日、国民の祝日、第1・3土曜日、開学記念日(10月第2土曜日)、年未年始(12月29日～1月3日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 地域広報小委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL：045-366-1111(代)